

会議名	第5回新城地域協議会		公開
日時	令和5年8月31日(木) 午後7時00分～午後8時45分	場所	市役所本庁舎4階 会議室
出席者	(委員) 権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、鈴木敏章、伊藤哲夫、清水利高、 今泉澄夫、佐本達俊、高木猛至、丸山哲也、中川享子、今泉克英、 松井利文、後藤國與、鈴木雅晴、白柳明美、今泉光俊、浅岡勝、 大瀧章義、村田博和、今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民協働部：吉林部長、市民自治推進課：杉本参事、宮本主査 新城自治振興事務所：今泉所長、近藤主任		
欠席者	沼田宣	傍聴者	なし
配布資料	次第、 資料1：令和6年度新城地域自治区予算事業計画(案)概算金額一覧 資料2：新城地域協議会だより第49号(案) 資料3：新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱 資料4：令和5年度 地域協議会に関する運営要綱		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名(権田康之委員、西尾泰昭委員、矢賀美紀代委員)</p> <p>2 報告 (1) しんしろ地域計画の進捗管理について 地域計画分科会 佐本委員長より地域計画分科会の検討状況について報告を行った。 地域の目指すべき将来像を記したしんしろ地域計画を令和5年度に改定した。 地域計画を推進していくため、具体的な事業(実施計画)や、その評価方法について検討を進めている旨の報告がされた。</p> <p>(2) 令和6年度地域活動交付金について 地域活動交付金分科会 鈴木委員長より地域活動交付金分科会の検討状況について報告を行った。 過年度からの引継事項ともなっていた審査会における評価項目の見直しや、例年申請をいただいている団体の審査方法の簡略化等について検討を行っている。 今後、交付金額の上限等についても検討を行っていく旨の報告がされた。</p> <p>3 議事 (1) 令和6年度新城地域自治区予算事業計画(案)について 地域自治区予算分科会 高木委員長より地域自治区予算分科会での検討結果について報告を行った。 分科会にて3回の検討を行った結果、令和6年度新城地域自治区予算事業計画</p>

(案)として、全15事業 6, 327千円を提案された。併せて、新規事業として、「こども園英語に親しむ機会づくり事業」と「地域計画推進事業」について説明がされた。

その後、事務局より個々の事業について説明をし、質疑応答が行われた。

質疑応答の後、地域自治区予算分科会から提出された令和6年度新城地域自治区予算事業計画(案)について議決を行い、賛成多数により新城地域協議会として令和6年度新城地域自治区予算事業計画(案)が採択された。

なお、今後の調整により金額に増減が生じた場合には、会長と地域自治区予算分科会委員長、事務局に一任いただくことを了承いただいた。

以下、質疑応答における主な意見を記載する。

<主な意見>

●こども園英語に親しむ機会づくり事業について、もっと重点的に行ってはどうか。

⇒こども園からは、現状の体制では月1回としたい旨話をいただいている。

⇒今後、事業を進めていく中で回数を増やせるようになっていくと良い。

⇒年長のみを対象としているが、対象を広げることはできないのか。

⇒回数を1回とした理由同様に、現場(こども園)の声として年長のみとしたい旨話をいただいている。

⇒こども園に英語講師が常駐しているような状況であれば良いと思うが、月1回では意味があるのか疑問である。

⇒本事業は、試行事業であり、始めることが大切だと思う。事業を進めていく中で、重要な事業であるということであれば、頻度等を変えていけば良いと考える。

●地域自治区予算事業を検討するにあたり、地域自治区予算で委託を受けている団体(ピンコロの会、新城まちなか映画祭実行委員会)から事業内容について説明を受けることはできないか。

⇒地域自治区予算分科会にて、団体に呼びかけ話しを聞いてはどうか。

⇒議事2の運営体制に関することと考える。

(2) 令和6年度地域協議会の運営体制について

過年度からの引継事項にもある地域協議会の運営体制について、事務局より説明をした後、協議を行った。

当日の協議だけでは、令和6年度地域協議会の運営体制について決定することは困難と判断し、次回へと持ち越すこととした。しかし、今年度の地域協議会の開催日程では、令和6年度の地域協議会委員の推薦等に間に合わないため、会長より臨時協議会の開催が提案され、可決された。

以下、主な意見を記載する。

<主な意見>

●防災を考える会など、新城地域自治区に跨ぐ組織(専門家)にも協議会に入ってもらってはどうか。

●ピンコロの会やPTAなどにも声がけし、新しい体制としてはどうか。

●会議に出席できる人の限りもあるが、幅広い年代の人にも出席していただければさまざまな意見が出るのではないかと。商売をしている人の意見も聞ければ良いと思う。

●協議会はなくても良いと思っている。人が少なくなり、PTAを選出するのにも苦労している。自分も代わる人がいないため、地元の商工会役員を20年もやっている。年代的にも、こういったことをやりたくないという世代になってきており、自分も協議会委員をやりたくはないが、誰かに押しつけるのも悪いと思いつけている状態である。

- いろいろな人に出てもらうのは難しいため、現状を加味して運営体制について考えていく必要がある。
- 仕事を持っていると時間がない上に、あれもこれもと役があるため、とてもじゃないが自分には難しいと感じている。
- 幅広い意見を聞くことは必要であるが、人を出すことが難しいということであれば、情報を集める方法を検討すべきではないか。
- 委員となったばかりの身としては、地域協議会の場に出て、皆さんの意見を聞くのは嫌ではない。委員構成としては、こども園の保護者会の方に、この時間帯に出席いただくことは無理だと思う。活動団体の方が、地域協議会に出席し、活動（事業）内容について説明をする機会があると理解が深まり良いと思う。
- 勤めに出ていた時は、地域に顔を出すことも少なく、区長の役を頼まれて引き受けた。地域協議会委員も2年目となり、自分たちのまちを良くしようとする場に出てくると声を出さないといけないと思うように自分自身が変わってきたと感じる。そういった意味でも必要な会合だと思う。
- 市が行う事業を地域住民に聞き、事業内容を決めるという制度は良いものだと思う。地域計画に関わる団体（人）に地域協議会で説明をしてもらう体制がとれるのが良いが、現実的には難しいと思う。地域コミュニティアプリといった地域住民同士が相談できるような仕組みを設けることも1つの方法だと思う。
- 地域活動に関わっていると、地域には隠れた逸材がまだまだいるように感じる。
- 時間の制約等はあるが、地域計画の5つの柱に関連した方の意見が聞けると良い。
- 地域住民から出た課題に対し、予算化して課題解決していけるこの制度は良いものだと思うし、この会議自体、有意義なものだと思っています。ただ、地域協議会委員になった際に、地域協議会委員は地域の旗振り役であると言われた言葉はネックでした。
- 地域が一番欲しいと思っているものを優先して、取り組んでもらえる仕組みは良いものだと思う。地域協議会委員の構成として、各分野に渡り横断的な委員構成になると良いと思う。全ての会議に出てもらわなくても、各分野における意見をいただければ良いと思う。
- 地域協議会委員は審査員という感覚でいきましたが、事業提案等も行っている現状を考えると活動団体の人達に出ていただいた方が良いように感じる。
- 八名地区のように現場を知っている人が出てくれると良いと思うが、そういった方は一人何役もやっている方が多く、勤めていたりすると更に厳しいように思う。
- 八名地区のように連携が取れる構成が良いと思うが、役員を決めるだけでも一悶着ある状況のため、情報を吸い上げられる体制を整えれば良いと思う。自分自身、3年にして地域自治区予算の決められ方が理解できるようになってきた。妹がまちづくり集会に無作為抽出で選ばれて参加したことをきっかけに、次のまちづくり集会にも自主的に出席したり、女性議会にも参加したりするよう変わった。そういった方もいると思うので、広く公募をかけてみてはどうか。
- 地域自治区制度を始めて10年が経過した。地域協議会に与えられた権限は、市長に意見を伝えれるというものであり、地域には決定権がない。この状態のまま地域マネージャー制度を進めたところで、現在の地域協議会には実行機関としての機能を持たせることができないため、先細りしかないものと思う。そのため、地方自治法上の地域自治区制度ではなく、地域独自の地域自治区制度とする必要があると考える。地域団体に入っただけなのは無理だと思うが、そこで議論をしていただくことが大切だと思う。
- 充て職とすれば、人選しなくて済むので良いと思うが、より役を引き受けてくれ

る人がいなくなるとも思う。地域計画の関係者の方には、毎回でなくても良いので地域協議会に出席していただければ良いと思う。

- 勤めに出ていた時から社会活動をしてきたが、ある時に地元で活動をしていなかったことに気付き、現在は積極的に活動をしている。この地域協議会は、行政に対し、直接話をする事ができるチャンスだと感じている。他の自治区のことを知りながら、まちづくりをしていけるのは良いことだと思う。どういうまちにしたいのか行政に示して欲しい。
- 地域計画を考えてみても、経験のない人の頭では、机上の空論になってしまうので、地域活動をしている団体（人）の声を拾うことが現場にあったものだと思う。負担が大きいのは間違いないと思うが、何らかの形で出てもらうのは必要と思う。現在の地域協議会の構成は、住んでいる場所の代表という形になっているので、この分野の代表という形になってくると良いと思う。
- 義務感で行ってでは続かないと思う。地域自治区予算等から予算をいただいている団体はどこかで発表をして欲しい。それを参考に次に繋げて欲しい。
⇒団体は来たいと思う。自分たちの活動というものを広く知ってもらい、同士を募りたいと思う。

4 その他

今後の日程について事務局から連絡した。

(1) 第3回地域計画分科会

令和5年9月7日（木）午後7時から 新城市役所4階 会議室

(2) 臨時地域協議会

令和5年9月21日（木）午後7時から 勤労青少年ホーム2階 軽運動場

※令和6年度の地域協議会の運営体制について

・委員構成について

・分科会について

(3) 第6回新城地域協議会（建議）

令和5年10月26日（木）午後7時から 新城市役所4階 会議室

※協議会后、地域意見交換会が開催される旨紹介をした。